

平成 27 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	脂質クオリティが解き明かす生命現象
領域代表者	有田 誠 (独立行政法人理化学研究所・統合生命医科学研究センター・チームリーダー)
研究期間	平成 27 年度～平成 31 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、新学術領域研究「生命応答を制御する脂質マシナリー」(平成 22～26 年度)の成果の上に立脚し、細胞組織の脂質の詳細なタイプ、特に脂質クオリティに焦点をあて、生化学、質量分析、イメージング、疾患メタボローム解析、構造解析など多様な分野を結集して、脂質の新機能の発見と生命現象の理解を目指す独創性・新規性のある提案である。脂質の生命現象における役割は重要であり、本提案にある脂質解析手法の確立ができれば、遅れていた脂質研究の格段の発展が期待されるだけでなく、他分野における波及効果も大きい。</p> <p>研究組織は、方法論の開発から応用医学研究まで幅広い研究分野を包括した配置となっており、各研究者の特色を生かした組織構成であると評価できる。また、7つの基盤解析センターを現有のリソースを中心に立ち上げが計画されており、その運営についても専門家が適切に配置され、領域全体で利用できる支援体制が整えられている。</p> <p>網羅的解析技術であるノンターゲット解析法により、脂質多様性に正面から取り組む重要な提案であるが、一方で、同定される膨大な数の構造体の生理活性を個々に調べることは容易ではないため、重要な脂質の絞り込み戦略の策定等の対応が望まれる。</p>